



服務研修の支援依頼、ありがとうございました

夏季休業中に小学校 18 校、中学校 13 校、小中合同で 3 校、計 34 校の依頼をいただき、服務研修会に伺いました。その時の研修内容と研修後の先生方の感想を紹介いたします。

【研修内容】

I ハラスメントについて

- ◆ 快適な職場環境づくりのために、ハラスメント防止に心がけましょう。

II 交通事故防止について

- ◆ 走行中（前との車間距離：3 秒）、
停車中（前との車間距離：前の車の後輪の接地面が見える）
- ◆ 駐車場ではバックで駐車し、安全確認後に発進する。
- ◆ 自分の動きを早めに示しましょう。
（進路変更は 3 秒前、右折左折は 30 メートル手前で合図を！）
- ◆ 夕暮れ時は、早めに点灯する。

III ワークライフバランス（仕事と生活の調和）について

- ◆ 心身の健康を確保のためにはセルフケアが基本です。



休暇を上手に活用し、仕事と生活の中でできた「ストレス」を解消しましょう。

【研修後の先生方の感想】

- ・ ハラスメントの防止、交通事故の防止、不祥事防止について、改めて考え直す時間になりました。また、自分のワークライフバランスについても、考え直し、心に疲れがたまりすぎないように、年休等を上手に使って、心のリフレッシュをしていこうと思いました。
- ・ スライドを用いての説明と、グループ協議という中身で、問題意識を持って研修に参加できました。私の場合、子育てと仕事をうまく両立させるためには、日頃から自分自身が精神的にも体調面でも疲れすぎず、健康に過ごすことが何よりも大事なかなと思いました。
- ・ 周りの先生方に迷惑をかけてはいけないといった気持ちから無理をしてしまうこともありますが、自分でしっかり体調をコントロールしていかなければいけないと思いました。



9 月以降も、支援の申し込みを受け付けます！
申し込み先・・・**0954-23-3125** 管理主任：武富貞祐・藤田大輔まで



西部型授業の模擬授業研修会

8月3日（木）唐津総合庁舎、4日（金）武雄総合庁舎にて西部型授業の模擬授業研修会を開催しました。唐津会場には30名、武雄会場には48名の参加者がありました。所員が行う小学校算数と中学校国語の模擬授業に参加してもらうことで、「学力向上のための手びき」に示した授業作りのイメージを共有できたと思います。

研修会後半のグループ別演習では、西部型授業を踏まえた模擬授業の工夫点を考えることで、再度西部型授業について見直すことができたことや、今後へ生かしていきたいことなどの意見が出され、活発な意見交換が行われました。



《参加者からの“声”》

- ・ 私は、『見通す』の部分に工夫が必要であることを改めて考えさせられた。この時間でどんな力を付け、何に気付くのか分かるめあてや指示をしていきたい。
- ・ 今後は、何のために話し合うのか、話し合ったことをどうまとめていくのかを意識して授業をつくっていこうと思った。
- ・ まずは、学習で大切にしたいキーワードの提示をしていくことをしていきたい。
- ・ 子供たちの立場に立って考えると、思っていた以上に「今、何をすべきか」ということが難しいことが分かった。

※ 「学力向上のための手びき」は、西部教育事務所のホームページよりご覧いただけます。

離島研修 in 小川島

7月21日（金）に、東松浦地域の新規採用教職員を対象にした離島研修を小川島で行いました。

小川小中学校の子供達は、夏季休業中にもかかわらず登校し、応援歌や歌（先生方の生演奏）で歓迎してくれました。温かいおもてなしに感動した初任者も多かったと思います。

島内散策では、子供達が鯨見張所や鯨の供養塔等を案内してくれました。名所ごとにクイズを用意してくれていたため、暑い中でしたが、初任者は一喜一憂しながら楽しく小川島の文化を学ぶことができました。

他にも、テレビ会議システム（唐津市のICT愛ランド事業で、離島4校と本土4校の環境を整備し、電子黒板等で交流できるシステム）の実演や核シェルター見学、自然体験活動（種類や出元（国籍）でごみを分類、集計しながら行う海岸清掃と意見交換）を通して見聞を広げました。

研修の冒頭に、藤井校長先生が「へき地教育には教育の原点があると言われる。その原点とは何かを今日は感じてほしい。」とおっしゃいました。その言葉通り、初任者達は教育の原点を肌で感じる事ができたと思います。

離島研修の様子は、西部教育事務所北部支所のホームページに詳しく載せております。ぜひご覧ください。また、離島に関心があり、詳しく知りたい方は、小川小中学校、高島小学校、馬渡小中学校、加唐小中学校のホームページをご覧ください。

